

Q 内水ハザードマップとは何ですか？

想定し得る最大規模の降雨（1時間に147mm）が降り、内水氾濫が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深、避難に役立つ情報等をまとめた防災マップです。

Q なぜ内水ハザードマップを作成したのですか？

令和6年度に実施した内水浸水シミュレーションの結果を町民の皆様にとって、よりわかりやすく、より活用しやすいような形で示すことで、避難場所の位置や水害リスクを事前に確認し、日ごろの備えや避難の際に役立てていただくために作成しました。

Q どのようなシミュレーションを行ったのですか？

道路側溝や小河川、地形の状況等を現地調査で把握し、コンピュータ上でモデル化したものに雨を降らせ、道路側溝等に雨が流れ込み、管がいっぱいになり、マンホールからあふれ出た雨水が低い土地に集まり、浸水区域となるといったシミュレーションを行いました。

Q 想定し得る最大規模の降雨をどのように決めたのですか？

「想定し得る最大規模の降雨」は国の基準により定めています。国の基準では近隣の流域における降雨が同じように発生すると考え、国内を降雨の特性が似ている15の地域に分け、その地域内で過去に観測された最大となる降雨量を用いて設定されています。清水町は中部地域に分類されており、中部地域で過去に観測された最大降雨量である1時間に147mmを使用しています。

Q 国のマニュアルに基づいて作成しましたか？

「水害ハザードマップ作成の手引き（令和5年5月）」（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室）に基づき作成しました。

Q 水防法に基づいて作成しましたか？

清水町内水ハザードマップは、水防法に基づいて作成しました。

Q 近年、清水町で降った最大の降雨はどれくらいですか？

令和6年11月2日に清水町消防署で観測した時間降雨量59.5mmが最大です。
(令和8年4月現在)

Q 町が作成しているハザードマップは、何種類ありますか？

清水町内水ハザードマップと清水町防災ハザードマップ（洪水ハザードマップ）、清水町富士山火山防災マップの3種類があります。

Q 内水ハザードマップと洪水ハザードマップの違いは何ですか？

清水町内水ハザードマップと清水町防災ハザードマップ（洪水ハザードマップ）は、ともに浸水に対する円滑な避難行動の促進や平常時からの防災意識の向上を目的に作成しています。清水町内水ハザードマップは、内水氾濫による浸水区域や浸水深等を示していますが、清水町防災ハザードマップ（洪水ハザードマップ）は、洪水が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深等を示しています。

Q 過去の浸水実績や被害は反映されているのですか？

令和7年度に全5回の地区意見交換会を開催し、地域から過去の浸水実績や被害等についての意見聴取を行いました。頂いたご意見を「避難時危険箇所」、「既往浸水箇所」として地図上に反映しています。

Q 過去に浸水実績のあった場所が、浸水区域になっていません。間違っていないですか？

内水浸水想定区域は、あくまでも道路側溝等、水路の能力の不足によって浸水する箇所を示しており、排水溝が詰まったことによる浸水や局地的な「くぼ地」などの微細な地形による浸水については表現できないため、過去に浸水実績があった場所でも、浸水区域になっていない場合があります。

Q 浸水が想定されていない箇所は安全ですか？

浸水する場所や浸水深は、雨の降り方や河川及び道路側溝等の雨水排水施設の状況により変化するため、必ずしもハザードマップのとおりには浸水するとは限りません。浸水が想定されていない地域でも状況によっては、浸水することもあるため、ご注意ください。

問い合わせ先

清水町くらし安全課防災対策係(055-981-8205)

メール：bousaitaisaku@town.shizuoka-shimizu.lg.jp